

1. The nominee's full name and affiliation
2. The nominee's research subject for the prize
3. Description of the nominee's achievements for the prize
4. The nominator's full name, affiliation and email address (signed and dated)
5. List of nominee's key publications (if available)

1-1-1 Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0003, Japan
jos@mynavi.jp [Subject: the Environmental Science Prize of JOS]

Deadline: September 10th, 2020

The winners in the past

2010 Satoko Seino / 2011 Yu Umezawa / 2012 Yuichi Hayami / 2013 Haruko Kurihara / 2014 Jyota Kanda / 2015 Hideaki Nomura / 2016 Naoki Fujii / 2017 Kazuhiko Ichimi / 2018 Jing Zhang / 2019 Hideki Fukuda / 2020 Michio Kawamiya

Please send the recommendation by mail or e-mail to
Award Committee of JOS Environmental Science Prize
Mainichi Academic Forum, Floor-9, Palace-side Building

アカデミア メランコリア (第26回) (若手のコラム)

東京海洋大学 海洋環境学部門 博士研究員 中野 知香

海洋大学の中野です。気象庁の川上さんからお声がけいただき、本コラムの担当となりました。私の主たる研究分野は二重拡散対流や乱流などの海水混合過程ですが、現職では海水や底泥などに含まれるマイクロプラスチック(MPs)の研究に取り組んでいます。

さて、民間企業のほうが賃金も高いし終身雇用だし、研究は好きけどもういいかな？なんて考えている、そこのあなた！気持ちはすごくわかります。隠す必要もないので正直に書きますが、私もちょっとだけ海洋学に関する研究をお休みしていました。なぜかという、それは将来が不安になったからです。博士後期課程からポスドクとなると、適齢期と呼ばれる時期を研究に捧げるわけですが、職・食・色と様々なショックが毎日頭の中をグルグル…考え込むのは性に合わないの、思い切って外に飛び出すことにしました。

お休みといっても、運よく民間会社の海洋部門に配属になったので、仕事でも海洋に携わることができました。非常にありがたいことに、機械学習などの流行りの技術を使い、波浪と船舶に関する論文も出せました。海洋データの実社会での活用法を知ったことで、海洋学について視野が広がったように思います。そして新入職員でも賞与がもらえたので、両親が元気なうちに旅行をプレゼントすることができました。研究員を続けていたらきっとできなかったでしょう。それから、上司や先輩方に教えていただいた業務の進め方は、現在取り組んでいるMPsの研究を進めていく上で非常に役に立っています。

以上のように、周りの方のサポートもあり前途洋々、仕事にいそしんでいたのですが、はて、私の目標ってなんだっけと思うのです。会社での将来の自分が想像できたころから、帯状疱疹がでるわ、でるわ。決して嫌な仕事ではなかったけど、本当にやりたいことってなんだっけ？そして、復帰の直前、相模湾を眺めながら大きなショックを受けていることに気づきました。海って楽しいのに！なぜ楽しくない陸にいるのか！もっとドキドキしながら生きたい！

そんな折、指導教員の「面白いほうが良いぜ、まァラーメン食べに行くか」という無責任なアドバイスにそそのかされ、1週間もたたないうちに現在のボスに会いに行きました。現在のボスと会ってから退職願を出すまで1週間、その場のノリでアカデミックな世界に戻ってしまいました。

同年代の研究仲間にはもっと慎重になれと言われることもありますが、結局は、自分が何をしたいのかで判断するのがいいのだと思います。人に惑わされず、自分の信ずることを。今のところ、会社勤めしたことも、研究分野が大きく広がったこともどちらも自分にとってプラスだったと思っています。いまから、ここから。いつか自分にしかできない研究を、と考えながらやっていきたいと思っています。

